

「施策」総括票

施策展開	1-(7)-ウ	人に優しい交通手段の確保	
施策	③多様な交通手段の確保		75頁
対応する 主な課題	○環境や人にやさしい交通手段として自転車利用促進が求められているが、沖縄県では自転車の利用が少ない。また、自転車走行空間が確保されておらず、歩行者や自動車と錯綜して危険な状況があることから、安全・快適な自転車利用環境の整備が必要である。		
関係部等	土木建築部		

I 主な取組の推進状況 (Plan・Do)

(単位:千円)

平成24年度				
	主な取組	決算見込額	推進状況	活動概要
○自転車利用環境の整備				
1	自転車利用環境の整備	-	順調	○那覇市等で自動車走行空間に関する整備計画の策定に向けた取組を実施している。(1)

II 成果指標の達成状況 (Do)

(1) 成果指標

	成果指標名	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
1	-	-	-	-	-	-
	状況説明	-				

(2) 参考データ

参考データ名	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
低炭素なまちづくりに取り組む市町村数	0市町村 (23年度)	0市町村 (24年度)	-	→	-

様式2(施策)

Ⅲ 内部要因の分析 (Check)

○自転車利用環境の整備

・自転車走行空間は、県道のみでなく国道・市町村道とのネットワークとして形成されるものである。自転車走行空間に関する整備計画は、市町村が主体となり地域の事情を考慮して検討し策定され、県道についてもその計画において位置付けられていることから、県としても国と連携して積極的に市町村による計画策定に協力していく必要がある。

Ⅳ 外部環境の分析 (Check)

○自転車利用環境の整備

・国道において、沖縄総合事務局は那覇市壺川や山下地区において自転車走行空間の整備を行った実績があり、サイン表示等について連携していく必要がある。

Ⅴ 施策の推進戦略案 (Action)

○自転車利用環境の整備

・市町村に対し県道の幅員構成等の情報を提供するなど支援し、市町村の自転車走行空間に関する計画策定を促進する。
・沖縄総合事務局から国道における自転車走行空間の整備に関する情報を受けるとともに、市町村に対して情報提供を行い連携を図っていく。